

読書まつり(12.14)

図書委員会が中心となって読書祭りが開催されました。今回の読書祭りは図書委員による絵本の読みがたりと学校図書館司書の森元さんによる本の紹介や本との出会いなどについてのお話がありました。本に親しむよいきっかけになったステキなひとときとなりました。



図書委員の司会進行で行われた読書まつり。図書委員からは絵本「14ひきのあきまつり」の読み語りがありました。大型テレビに絵本の絵を映しながら読んでくれました。かくれんぼ中、見つからないろっくをさがしに行くと…不思議な秋祭りに出会いました。

『『おとうさんおはなしして』(アーノルド＝ローベル作)の本が大好きで、毎日短いお話を1話ずつ読んでいました。』と学校図書館司書の森元先生が本を好きになったきっかけをお話してくださいました。また、『窓際のトットちゃん』の途中を読んでくださいました。結末が読んでみたくなりました。他にも学年ごとに読んだらいいと思われる本をたくさん紹介してくださいました。



神石高原町読書感想文コンクール 小学生の部
優秀賞 6年 藤原光城くん

表彰と感想文「後悔より努力」の発表もありました。イチローの伝記を読んで学んだことや自分の経験と関連づけて考えたことを書いた感想文でした。



読書まつりの後、1年生は森元先生に絵本を読んでもらいました。学校のお話で本物の校長先生を見つけながら楽しく読みました。



本を読むことで、本の世界にどっぷりと入って楽しんだり、悲しんだり、喜んだり、怒ったり…いろいろな感情にひたることができるでしょう。また、本を読むことで学ぶことも多く、いろいろな考えに出会い、自分の生き方に役立つこともあるでしょう。本を読むことで、知識が増えることもあるでしょう。いろいろな本に出会い、好きな本が1冊でも多く増えるといいと思います。

森元先生が紹介してくださった本

1・2年生

ユーモア絵本・昔話・民話・大人も一緒に楽しめる絵本

おもしろい本をいっぱい読んでほしいです。



1・2年生向け

『しょうがっこうへいこう』斎藤 洋／作 講談社
 『パンダ銭湯』tupera tupera／作 絵本館
 『いつもちこくのおとこのこ』ジョン・バーニンガム／作 あかね書房
 『うどん対ラーメン』田中 六大／作 講談社
 『ばんつくったよ』平田 昌広／作 国土社
 『まないたに りょうりを あげないこと』シゲタ サヤカ／作 講談社
 『ねこが おおきく なりすぎた』ハンス・トラクスラー／作 徳間書店
 『まあちゃんの ながいのみ』たかどの ほうこ／作 福音館書店
 『タンゲくん』片山 健／作 福音館書店
 『あかちゃん社長がやってきた』マール・フレイジー／作

3・4年生

ファンフィクション・科学読み物・児童文学

本当の話や科学読み物を読んでみましょう。いろいろなことが分かります。また、自分と同じくらいの年の主人公が出てくるお話も読んでみましょう。楽しいですよ。



3・4年生向け

『あたまのなか』高橋 悠治／文 福音館書店
 『まげて、とかして おりょうりしよう』西巻 茅子／作 福音館書店
 『恋するいきもの図鑑』今泉 忠明／監修 kanzen
 『泣けるいきもの図鑑』今泉 忠明／監修 gakken
 『世界恐竜発見地図』ヒサ クニヒコ／文 岩崎書店
 『おじいちゃんの口笛』ウルフ・スタルク／作 ほるぷ出版
 『百枚のドレス』エレナー・エスティス／作 岩波書店
 『長くつしたのピッピ』A・リンドグレーン／作 ポプラ社
 『絵くんとことばくん』あまの ゆうきち／作 福音館書店

5・6年生

伝記・名作文学

何かを成し遂げた人たちの共通点は「あきらめない」ということ。伝記からは多くのことを学べます。また、名作といわれる本は、長く、多くの人たちが読んできている本だから、やはり「おもしろい」。伝記も名作も読んでおくと大きくなってから役に立つことがありますよ。



5・6年生向け

『飛ぶ教室』E・ケストナー／作 ポプラ社
 『よだかの星』宮沢 賢治／作 岩崎書店
 『まだらのひも』コナン・ドイル／作 岩波書店
 『オオカミ王・ロボ』アーネスト・シートン／作 福音館書店
 『杜子春・くもの糸』芥川龍之介／作 偕成社文庫
 『ドン・キホーテ』ミゲル・デ・セルバンテス／作 講談社
 『伝記 坂本龍馬』榎本 秋／文 あかね書房
 『伝記 いわさき ちひろ』松本 由理子／文 あかね書房
 『さんねんな歴史人物』真山 知幸／著 gakken

豊松小学校では読書百選にも取り組んでいます。すでに百冊読み終えた人もいます。これからも、いろいろな本に親しんでほしいと思います。



百選をすべて読み終え、図書委員会委員長から表彰されました。